

わたしが考える「市庁舎のあり方」レポート

これまでの「市庁舎のあり方を考える市民会議」を踏まえて、質問①～⑤についてあなたの考えを書いてください。

※みなさまからいただいたこれまでの「ふりかえりシート」と合わせて事務局で取りまとめ、市長および議長に提出いたします。またメンバーの皆さまに送付させていただくとともにホームページ等でも公表（氏名はのぞく）させていただきます。

質問① 耐震改修か建替えかどちらがよいか？

これまで市民会議では、現市庁舎の現状、市役所の機能、災害時の市庁舎の機能、常滑市の財政状況などさまざまなテーマについて情報提供やグループ討議をおこなってきました。市民会議を振り返って、常滑市にとって、耐震改修か建替えかどちらがよいのかあなたの考えを書いてください。

質問② 庁舎にふさわしい場所はどんな場所か？

現市庁舎は昭和44年に新開町の地に建設されました。当時では想定できなかった津波や液状化の問題、北汐見坂・虹の丘・飛香台などの新しい住宅街の完成、空港の開港やそれに伴うインフラの整備、りんくう地区への企業誘致など常滑市を取り巻く状況は大きく変わりました。

その中で今の常滑市にとって、市庁舎にふさわしい場所とはどんな場所なのか、あなたの考えを書いてください。

質問③ 庁舎にはどんな施設や機能があるとよいか？

現市庁舎は、今年度で築48年となります。当時の建築基準のまま大規模な改修を行っていない施設は老朽化し、通路やスペースは暗く狭く、ユニバーサルデザイン対応の未実施など施設面で多くの問題を抱えています。また耐震性能がなく、津波による浸水区域・地震による液状化区域にあるため、いざ災害が起こった場合には、復旧・復興の拠点となるはずの市庁舎は機能することができません。

十分な市民サービスを提供するために、災害時に復旧・復興の拠点となるためになど、市庁舎にどんな施設や機能があるとよいか、あなたの考えを書いてください。

質問④ 庁舎と一緒にあったら便利・有用な施設や機能は何か？

厳しい財政状況の中、市民の安心・安全の確保を優先し、保育園・小中学校等の耐震補強、消防本部・市民病院の建替えを優先してきたため、耐震化が実施されていない公共施設が市庁舎以外にもまだあります。また普段から市庁舎に多くの人が集まり市民との交流の場となるなど、現市庁舎に欠けている役割を果たすためには、どんな施設や機能が一緒にあるとよいか、あなたの考えを書いてください。

質問⑤ その他の市庁舎のあり方（財政面も含めて）について

質問①～③以外のことについて、あなたの考えを自由に書いてください。

※このレポートは平成29年11月20日（月）までにご提出ください。

※提出は同封の返信用封筒による郵送・FAXのいずれでも構いません。

わたしが考える「市庁舎のあり方」レポート

お名前

質問① 耐震改修か建替えかどちらがよいか？

耐震改修 ・ 建替え

理由：

質問② 庁舎にふさわしい場所はどこか？

質問③ 庁舎にはどんな施設や機能があるとよいのか？

通常時の機能

災害時（または災害に備えた）の機能

質問④ 庁舎と一緒にあったら便利・有用な施設や機能は何か？

質問⑤ その他の市庁舎のあり方（財政面も含めて）について

※このレポートは**平成 29 年 11 月 20 日（月）**までにご提出ください。

※提出は同封の返信用封筒による郵送・FAX のいずれでも構いません。